

ローカルルール

2022年12月1日

- ・グリーン上では、パター以外のクラブ使用を禁ずる。(但し、特別な場合を除く)
- ・アウトオブバウンズ(OB)の境界は白杭、ペナルティエリアは赤杭を持って表示する。
- ・アンダーリペア(修理地)は、青杭又は白線をもって表示する。
- ・球がアンダーリペア(アンダーリペア内にて紛失した場合)または、その区域がプレーヤーの意図するスイングの妨げとなる場合には、救済を受けなければならない。
- ・PAR4・PAR5のホールにおいて第1打目がOBの場合、2打罰を加え、前方の特設ティより、4打目としてプレーしなければならない。
- ・PAR3のホールにおいて第1打目がOBまたは池に入った場合、1打罰を加え、前方の特設ティより、3打目としてプレーしなければならない。
- ・ジェネラルエリアにおいて、球が『人口建築物』(植木の支柱、マンホール、道路、排水溝、ヤード表示杭、網、電柵、スプリンクラー、一時的推積物)等に接した場合はニヤレストポイントより1クラブレンジス以内に、無罰でドロップすることが出来る。
- ・バンカー内の、ひび割れた状態になっている所に球が入った場合、同じバンカー内のニヤレストポイントより1クラブレンジス以内に、無罰でドロップすることが出来る。
- ・カート道の救済を受ける場合、左右いずれかの、ニヤレストポイントより1クラブレンジス以内に、無罰でドロップすることが出来る。
- ・カート道との境界と思われる地点から1グリッブ以内をカート道とみなす。
- ・異常な気象状況(ゲリラ豪雨・落雷)等において、サイレンが短く何度も鳴った場合は、プレーを停止し、10秒以上鳴った場合は、プレーの再開とする。
- ・ジェネラルエリアでは、穴掘り動物(イノシシ等)により生じた損傷の区域は、救済が認められる修理地として扱われる。
- ・5番ホールで、グリーン横のペナルティエリアに球が入った場合、指定のドロップエリアを使用することが出来る。
- ・18番で、ペナルティエリアに球が入った場合、指定のドロップエリアを使用することが出来る。
- ・10番ホールで、グリーン後ろの防護ネット裏に球が行った場合、ネットがプレーの線上に介在している場合は、指定ドロップエリアに、無罰でドロップすることが出来る。
- ・第2打目以降の球が見つからない、あるいはOBであることが分かっている、または事実上確実な場合は、ストロークと距離に基づいて処置するのではなく、2罰打を加え救済エリアに、元の球か別の球をドロップすることによって、救済を受けることができる。

上記以外はすべてJGA競技規則による。



岡山西ゴルフ倶楽部